

## SAP S/4 HANAのユーザエクスペリエンス

Fioriランチパッドで可能	言語と地域の設定 デザインテーマの選択
Fiori ロールベース どう実現	エンドユーザの作業に必要な機能・情報提供 単一の複雑→複数の個別アプリに分解
最大3つの画面の目標の設計原則	シンプル
フィルタされたレポート結果を使用	新規フィルタとして保存 電子メールで送信 SAPJam共有
Fioriアプリどのタイプある	Transaction Fact sheet 分析
Homepage personalize機能どこで有効化	Launchpad設定
Fioriランチパッドで可能personalize	新規タイルグループ追加 既存グループにタイル追加

## 企業構造とマスタデータ

プラントでの在庫移動の転記時、会社コードどう導入される	1つプラント = 1つ会社コード、一意に決定
品目マスタの購買グループを更新レベル	プラント
品目マスタの自動購買発注区分はどのレベル	プラント
外部調達はどの組織割当必要	プラントー購買組織
仕入先の取引先マスタレコードを更新必要組織レベル	購買組織 クライアント 会社コード
プラント内の在庫数量は何によって区別	保管場所
プラントごとに個別の購買組織必要。考慮すべき	購買組織ごとに独自の仕入先マスタを持つ 独自の購買情報を持つ
調達プロセスを実行するため必要な取引先機能 (BPロール)	購買組織レベルの仕入先 会社コードレベルのFI仕入先

外部調達の特定の品目が無効になった、購買できないように 製造終了の品目を避け 打切品目を避ける	品目ステータスを設定
特定の品目から注文されないようにする。どうする	供給元一覧でブロック区分
原価積上・生産計画、評価エリア・組織レベルは何	プラント
購買伝票の取引先機能決定を有効化の全体条件	取引先決定票の関連する購買伝票タイプへの割当 勘定グループ別使用可能取引先機能定義
複数購買組織、会社コード。価格条件更新の労力を最小限	参照購買組織
調達の組織構造	1つの保管場所 = 1つのプラント 複数の保管場所 = 1つのプラント 1つのプラント = 1つの会社コード
フィールドの選択に影響	トランザクションコード 調達タイプ 品目タイプ
会社間共通購買組織 変更すべきではない	会社コード・購買組織
購買組織で可能な割り当て	同じ会社コード = 複数のプラント 1つ購買組織 異なる会社コード = 1つのプラント 1つ購買組織 1つの購買組織 = 1つの会社コード
企業構造のCustomizing実行できる購買組織割当	1つ購買組織 = 1つ会社コード 複数購買組織 = 1つ会社コード 1つ購買組織 = 複数会社コード複数プラント
BPのカテゴリは	グループ 個人 組織

## 評価と勘定設定

廃棄費用を特定勘定。勘定設定を制御のため使用できる特性	プラント 移動タイプ
非在庫品目を定期購買。特定勘定が自動提案ようにする設定	評価クラスを品目グループに割当
自動勘定設定ないとエラーが表示のトランザクション	評価品目の出庫 品目価格変更の転記 評価品目の入庫
自動勘定設定不適切、エラー	会社コード間の在庫転送 品目価格変更の転記

	保留在庫への入庫
購買発注参照のある請求書を登録、自動予定外配送費用の転記に利用できるオプション	費用を各請求書明細に配賦 費用を別の勘定に転記
品目の分割評価機能実装必要	評価カテゴリと評価タイプをカスタマイズ 品目マスタの会計ビューに追加データを登録
複数品目タイプを同じ勘定でグループ化設定。どうする	同じ参照勘定カテゴリを品目タイプに割当
複数会社コード・プランとある。労力最小限	評価グループコードで同じ勘定コード表のプラントをグループ化
評価エリアは自動勘定設定 影響	評価エリアごと異なる勘定定義できる 会社コードレベル/プラントレベル
品目分割評価の利点	部分在庫 異なる方法で評価 各ロットが個別に評価決定

## 請求書照合

Fiori仕入先請求書作成にサポート機能	購買発注履歴照会 予定外配送費用入力 複数購買発注を参照請求書登録
購買発注に関連する請求書を未転記。どうなる	購買発注履歴が更新 MM請求書伝票が登録
入庫・請求仮勘定で明細を未処理できる状況どれ GR/IR決済勘定に未決済明細を含めるできる状況	購買発注明細入庫と請求書入庫 数量差異
入庫・請求仮勘定で未処理明細存在原因	請求済数量 > 納入済数量 納入済数量 > 請求済数量
入庫基準請求書照合の機能	各請求書明細が入庫明細に割当て 入庫転記処理は請求書の転記前 前提条件、入庫基準請求書照合設定
購買発注基準請求書照合機能	合計納入数量・請求済数量の差異自動提案 分割納入に個別請求書明細のフラグが設定されない
正味額転記を使用、現金割引額を転記 どうトリガー	適切な伝票タイプを使用
売掛金担当者が自動承認機能を使用できる支払保留請求書の種類	差異による支払保留請求書 (差異にブロックされた)
請求書受領と予定数量/金額 差異発生 どう登録	実際請求額を入力差額処理、転記。請求書クレジットメモ 請求額入力、転記、請求書が実際の金額、場合によって支払保留

購買発注のロジスティクス請求書を転記どうなる	会計伝票が登録 発注履歴が更新
許容範囲上限超える数量差異検出	メッセージ、支払自動ブロック
請求書支払いを保留ために使用できるオプション	無作為の自動保管を設定 ヘッダレベルでマニュアル支払保留を設定 金額に基づく
入庫と請求書章ごとの処理間	入庫請求仮勘定
総転記方法で現金割引額を含む請求書を転記	現金割引額考慮せず、現金割引勘定のみ転記
保留理由＝品質 原因	入庫基準請求書照合使用しない、品質検査ロット使用しない 入庫基準請求書照合使用、品質検査ロット使用しない
請求書差額処理を使用 転記 何を実行	クレジットメモ転記の通知として仕入先に発行できるメッセージ 2つの会計伝票が登録
請求書受領で消費品目の勘定設定データ変更できるパラメータ	勘定設定カテゴリ

## 調達プロセス

購買発注を未転記。どうなる	ワークフローを使用して伝票の完了を依頼できる その購買発注の追加転記が無効になる
あなたの会社から払い出された構成品目を使用製品を製造	外注
調達プロセス管理ため必要	明細カテゴリ
納入された購買発注の仕入先請求書入力 参照情報	購買発注番号 船荷証券番号 納品書番号
評価品目納入される。入庫転記時登録伝票	会計伝票 入出庫伝票
POの価格が品目の標準価格より高額	入庫・請求仮勘定 購入価格差異 在庫
発注書の確認と出荷通知の送信を期待 設定	2つの確認タイプのシーケンスを持つ確認制御キー
パートナーの役割決定ため前提条件	購買伝票ライブにパートナスキーマを割り当て
再発注点、Forward shceduleどの時間要素	購買部門の処理時間

	入庫処理時間 出荷予定時間
仕入先受託品を使用する場合 何必要	受託品購買情報を登録 在庫払出の結果として生じた負債を決済
外注使用必要明細カテゴリ	L
正確な品目と価格はリリース発注まで確定されていない どの明細カテゴリ	M品目未選定
W使用できる契約タイプ	金額契約
外注調達プロセス機能	直接納入対象の構成品目を購入 構成品目消費の後続調整を転記 支給される構成品目の出荷伝票を登録
購買発注の仮保存機能特性	伝票内エラー許可 後続アクティビティ無効か
購買情報の価格条件を自動的に更新	見積更新時に購買情報更新区分を選択
購買発注を参照 在庫転記をサポート	在庫数量を複数場所に分類 評価額を更新
2つのプラント間の在庫転送転記と比較	配送費用を計画 MRP使用 在庫転送依頼を登録 消費に在庫を転記
勘定設定カテゴリ制御されるのは	勘定設定オブジェクトのタイプ 在庫を転記できるかどうか

## 特殊調達プロセス

長期特定の数量低価格調達しよう 伝票タイプ	ブランクセット購買発注
受託品排他的調達 MRP 品目ごとになに行う	特殊調達キータイプ 少なくとも1つ登録
一部品目預託販売のみ	受託品の特別調達キー・タイプ 少なくとも1つ登録
倉庫に納入、払い出した後支払求められる	受託品
別のプラントから品目を調達	在庫転送オーダー
明細カテゴリ B ブランクセット購買発注登録	制限値
新しい明細を作成時使用できる品目カテゴリを制御もの	伝票タイプ
どれがGL勘定の決定に影響	勘定科目表 評価エリア

## 調達分析

調達概要アプリをパーソナライズ	既存のカードを非表示 カードの位置を変更（ドラッグ&ドロップ） カードのコンテンツをフィルタリング
購買分析SAP Smart Business 機能	Smart control Drill down リアルタイム 色
契約SAP Smart Business 使用可能	金額契約消費 未使用基本契約 契約外
契約参照のない購買発注の支出を指定したい	契約外
Fiori購買グループ活動分析、どんな情報	今年度の始から購買グループで契約数 正味購買額
在庫管理どの分析アプリ利用できる	在庫－複数品目 死蔵在庫分析
ショッピングカート明細 KPI	購買依頼明細変更
KPI report, chart	表示される次元を変更 Export spreadsheet
購買依頼 SAP Smart Business KPI	タッチレート 平均承認時間 発注周期時間

## 在庫管理・実地棚卸

購買発注なしで転記、入庫時PO自動生成前提条件	移動タイプ、購買発注自動生成有効化 納入された品目が評価在庫品目である 品目と仕入先有効な購買情報必要 デフォルト購買発注タイプが指定
在庫転送オーダー特殊機能	運送中の品目は入庫プラントの積送中在庫として 入庫プラントの保留在庫在庫に入庫を転記できる
在庫の初期エントリ、数量と金額入力 どうする	Fioriで在庫移動転記アプリ GUIでMIGO
PO明細で納入完了区分の機能	PO明細は資材所要量計画と関係なく PO発注明細の入庫入力時マニュアルで区分

PO明細で納入完了区分どう設定	納入督促上生成時それをスキップ 残数量の入庫を引き続き転記できる
在庫決定方針実装できるシナリオ	受託品と自社在庫両方 内製数量と外部調達数量両方 様々保管場所
品目の有効期間チェックため前提条件	プラントで有効期間期限日確認有効化 移動タイプに対して有効期間期限確認有効化 残存有効期間が含まれてる
PO入庫中最低有効期間確認したい	残りの有効期間入力 SLED有効化
帳簿在庫凍結区分設定影響	件数開始時に固定
条件付き入庫記録手順	非評価入庫保留在庫への入庫転記
分納契約の登録を制御項目	契約タイプ
リリース発注登録プロファイル使用できる	仕入れ先マスタデータに入力できる プラント固有登録できる 周期制御できる
有効な価格を提案ためロジック	有効なプランと個別の価格存在 前回の購買発注から自動的提案
数量契約 - 目標数量を超える避ける    どうする	警告メッセージ
品目間振替転記の制限	入出庫予定転記事前計画できない シングルステップのみ 出庫品目の利用可能在庫から入庫品目の利用可能在庫のみ
在庫方針使うため前提条件	Close application customize 在庫決定グループに割当ててる Transactionで規則を割り当ててる

## 消費主導型所要量計画

品目のマニュアル発注点を計算    必要パラメータ	<b>見込日所要量</b> 安全在庫 補充リードタイム
発注点に適したロットまとめ方式	最大在庫レベルまでの補充 ロットフォーロット 固定ロットサイズ
発注点方式実行されるタスク	必要かどうかチェック

	品目ごとに正味所要量計算 正味量ごとにロットサイズ計算
MRPによって生成できる調達要素	納入日程行 計画手配 購買依頼
外部調達品目MRP Live登録できる提案	購買依頼 納入日程
外部調達品目 MRPLive登録	bAdi
MRP実行中品目・資材が計画される順序は何によって決定	ローレベルコード
ローレベルコードどこに保存	計画ファイル 品目マスタ
品目マスタレコード作成時、所要量計画手順必須パラメータどの項目に決定	MRPタイプ
MRP実行前提条件	自動的にMRPデータ更新 Customizingでプラントパラメータ更新
自動発注点 必要データ	補充リードタイム サービスレベル 平均絶対偏差

## 供給元

分納契約の登録を制御項目	契約タイプ
リリース発注登録プロファイル使用できる	仕入れ先マスタデータに入力できる プラント固有登録できる 周期制御できる 納入日程の経過数量の集計制御
有効な価格を提案ためロジック	有効なプランと個別の価格存在 前回の購買発注から自動的提案
数量契約 - 目標数量を超える避ける どうする	警告メッセージ
品目マスタレコード使用しないで消費品目購買情報登録	品目グループと仕入先との関係を指定
分納契約オプション・機能	プラントに固有 受託品で使用できる 品目マスタレコード
主要供給元として自動提案必要、可能なオプション	購買情報で通常仕入区分 仕入先を固定をマーク



新しい原材料、供給元として自動的に割当てする 何実行	品目の供給元一覧を作成、購買契約を供給元として追加
特定の品目が特定の仕入先からは注されないように	ブロック区分
自動供給元決定、手動登録、検索順序	1. クォーター 2. ソースリスト 3. 合意事項 4. 購買情報
新規の仕入先が最初から供給量割当に組み込みたい	割当て基本数量をマニュアル更新
分納契約JIT納入日程生成前何必要	明細詳細でJIT区分項目設定 参照される品目マスタレコードでJIT区分項目設定
分納契約で有効になるのはどの機能	JIT納入日程と予定納入日程生成
供給元一覧で仕入先指定場面	購買依頼 購買発注伝票登録

## 購買承認手続

Flexible workの前提条件	Flexible workの前提条件を設定 受信者を定義 有効化
購買発注の承認実行できる	承認コードを入力 すべて承認・拒否を取り消す
従来の承認手続き、分類必要はどれ	購買発注 見積依頼

## 購買最適化

確認管理キーで制御できるのは	入庫の前提条件となる仕入先確認 確認順序
原材料の調達、購買依頼→発注自動変換 前提条件	有効の条件を含む供給元が購買依頼割当てられる BP Master自動購買発注区分設定 品目Master自動購買発注区分設定
割当て済購買依頼を発注に一括変更	割当て一覧を使用 購買発注の自動生成 伝票概要
サプライヤの納入での数量不足で使用Fioriアプリ	チーム・責任管理 状況タイプ管理

プラントで品目調達完全ブロック	ブロック区分あり、仕入先ない プラント固有品目ステータス使用
状況テンプレートが存在するBPは	契約が供給元として準備済 仕入先確認が保留中
MRP2000不足、1000のみすぐ供給、どう更新	最大ロットサイズ、1 x ロットまとめ方式に割当量分割
複数購買情報、マニュアル登録	すべて表示、マニュアル選択
期限切れ 前提条件	購買発注出力 督促期間更新 出力レコード更新

## 購買管理の設定

特定のユーザのみ表示	EFB
伝票タイプを使用して管理できるもの	使用可能明細カテゴリ 項目選択 番号範囲 明細番号間隔 購買依頼への参照
受託品購買発注で他と異なる番号範囲使用したい	新しい伝票タイプをカスタマイズ、新しい番号範囲を割り当て、受託品の明細カテゴリをこのタイプのみ
購買発注はメール、数量・価格の変更はfax、前提条件	価格・数量項目が入力変更 変更メッセージフラグ 排他区分が検索順序でフラグ
過去の納入日付登録 権限あるのみユーザ	メッセージ新しいバージョンをコピー、エラーメッセージ、権限あるユーザ
明細の新規登録時に使用できる、明細カテゴリを管理	伝票タイプ
従来の承認の手続き、承認者どの設定に権限持つ必要	承認コード
分納契約の分納スケジュール自動作成	MRP
購買発注承認ためFlexible workflow設定できるのは	品目グループ 伝票タイプ 通貨
出力条件レコード何を指定できる	取引先機能 出力媒体 出力時間
購買発注明細と購買依頼の関連性 何に制御	伝票タイプ

購買発注の承認手続き特性	承認前出力できない
購買発注EDI、数量・価格の変更メール	変更メッセージを新規出力決定区分 新規印刷作業と変更 異なる出力タイプ 価格・数量出力変更
購買伝票に対する 出力管理の有効化 どのレベル	Application object
M_EINK_FRG	承認コード 承認グループ
出力決定で検索順序で決定されるオブジェクト	出力タイプの出力条件レコード
Flexible workflow どの伝票カテゴリ実行できる	購買依頼